理　科

教 科 名	理科	科 目 名	生物
科目の目標	⑴「生物基礎」との関連を意識しながら，生物や生物現象をさらに広範囲に学び，生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。 ⑵生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育てる。 ⑶命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て，生命を尊重する精神を養う。		
履修学年	3年	類型	
単 位 数	1単位	履 修 形 態	選択
教 科 書	東京書籍「改訂 生物」(生物306)	副 教 材 等	リードα　生物（数研出版） スクエア最新図説生物neo（第一学習社）

①学習の目標

（1）生物体を構成する各器官が連絡しあいながら、全体として秩序ある状態を維持していることを理解し、生物体の反応や行動を日常生活と関連付けて考察できるようにする。
（2）生物の集団内で、それぞれの個体はどのように関わり合い、生活しているのか探究する。また、多様な生態系はどのような特徴をもっているかを理解し、多様性の概念を考察できるようにする。
（3）生物の進化の過程を理解し、現在の多種多様な生物界ができたかを探究する。これらの生物はどのような特徴に基づいて分類されるのか考察できるようにする。

②学習内容と授業の進め方

上記目標のとおり、授業中心に解説・実験を行う。各分野ごとに生徒実験を通して学習した内容を確認する。

③学習に当たっての留意点

（1）授業時間内では、演習する時間が十分に取ることができないので、家庭学習で取り組むこと。
（2）実験による確認ができない内容は、図説（資料）を効果的に活用すること。

④評価の観点

⑴関心・意欲・態度 【関】	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
⑵思考・判断 【思】	観察・実験などを通して、自然の事物・現象の中に問題を見いだし、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察し、科学的に判断する。
⑶観察・実験の技能表現 【技】	観察・実験の技能を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果を的確に表現する。
⑷知識・理解 【知】	観察・実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

⑤評価の方法

定期考査の結果、授業や実験に取組む姿勢・態度、実験レポートの内容などにより、総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法（観点項目を記入）
4 5 6	5編 生態と環境	(1)生物の多様性と生態学 (2)個体群と生物群集 (3)生態系の物質生産とエネルギーの流れ (4)生態系と生物多様性	・同種の個体間、他種の生物間での様々な関係について理解できたか。【関】【思】 ・多様な生態系のしくみについて理解できたか。【関】【思】 前期中間考査
6 7 8 9	6編 生物の進化と系統	(1)生命の起源と生物の変遷 (2)進化のしくみ (3)生物の系統	・進化の過程と生物の類縁関係について理解できたか。【技】【知】 前期期末考査
9 10 11 12	総合演習		後期中間考査
1			